

第3回平戸市総合計画審議会

議 事 録

と き：平成29年9月21日（木）14：30～16：15

と ころ：平戸市未来創造館 1階ホール

| | |
|---|--|
| 開 催 日 時 | 平成 29 年 9 月 21 日 (水) 14 : 30~16 : 15 |
| 開 催 場 所 | 平戸市未来創造館 1 階ホール |
| 出 席 委 員 (50 音順、敬称略) | 今川亮生、上田正子、相知清隆、岡村幸夫、小田サチ子、 柿添圭嗣、鴨川周二、久原鐵男、坂本鏡心、西サチ子、 藤澤美好、松山芳弘、村上則夫、森 健司、山口純哉、吉居辰美、 (16 名) |
| 欠 席 委 員 (50 音順、敬称略) | 池田直彦、岡山紀一、滝 知則、橋口和久、吉福弘実 (5 名) |
| 事 務 局 (財務部企画財政課) | 吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長、山口企画統計班主査 |
| 次第 | |
| 1. 開 会 | |
| 2. 審議会会長 あいさつ | 村上会長 |
| 3. 議 題 (1) 第 2 回審議会 からの経過報告 | (事務局から説明) 質疑・意見等無し |
| (2) 第 2 次平戸市 総合計画 基本 構想骨子案につ いて 会 長 | (事務局から基本構想骨子案の説明) 31 ページまでの二重線は、第 2 回までの審議会で作された委員の意見を踏まえ、修正、変更、追加された部分になる。32 ページからは見やすさで、変更等も含めながら文言が整理されている。今回はここがメインの審議になるので、忌憚のないご意見を頂ければと思う。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 27 ページ、基本プロジェクト2の「子育て、教育」の下線部分で、「共生社会の基盤となる人権感覚を育み」と人権感覚は協調されているが、「行動する力」につながる言葉として「人権意識」ということが言われている。「人権意識」を追加していただきたい。これが今後10 年、自らルールを作っていく子どもたちということになると思う。 |
| 委員 | 平成30年4月に配布するのか。 |
| 事務局 | 本年度中に印刷までできればと考えている。 |
| 委員 | 例えば、平成30年で元号が変われば、全部書き直すのか。 |
| 事務局 | 冊子を作る段階では見えていないので、西暦も併記した形にしている。 |
| 会長 | 公文書は大体元号なので、どこも悩みの種だが、恐らくこれでいくのではないか。 |
| 委員 | 全体の構成だが、第1部の「第2章 未来へのチャレンジ」「第4章 未来への5つのポイント」と第2部の「第2章 平戸市のデザイン」の関係が全く分からない。一般的に、ビジョンがあって基本的な考え方や方針があり、その下にプロジェクトがぶら下がってくる構成が分かりやすい、すっきりした形だと思うが、目的と手段を混同されている。例えば、第2部の「第3章 みんなでやるばいプロジェクト」の部分は、基本プロジェクト1～6を支えるようなシビックプライドを持った市民やそのコミュニティ、そこで協働できる体制を作るというものが共通プロジェクトで、その上に基本プロジェクト1～6が乗っかるイメージだと思う。ところが、記述の中身を見ると、市民でまちづくりをするという話が出ている。この総合計画の中での「まちづくり」は、産業興しや雇用づくり、子育て支援など全てを包括するまちづくりを指してい |

| | |
|-----|---|
| | <p>と思うが、ここで「まちづくり」と言うと、後のものは何なのか、整理が必要ではないか。ここで書かれている「市民」のイメージは市民一人ひとりを指していると思うが、計画の中身としては、「市民」には企業も学校も病院も入ってくるというところがないと、共通プロジェクトが基盤で、その上に1～6が乗っかるという構成にはならない。</p> <p>「市民」という言葉の使い方なども気をつけないと、身の回りの生活を良くするという話は住民と行政が手を取り合ってやるが、例えば、産業興しや子育て支援などは行政が一方的にやるというニュアンスに見える。シンプルに分かりやすくしたほうが、市民に打ち出したときに読みやすいとなる。</p> <p>今すぐ大きく変えてほしいということではなく、気をつけながら構成を考えたほうが良いという意味。事務局が、例えば、あえて強調するために重複した書き方をしている等があれば教えていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>言われていることはもっとも。特に分かりにくいのが、第1部の第2章と第4章が2つに分かれていることだと思う。この総合計画を作るにあたって、極力、市民にも分かりやすい言葉で書きたいということがある。第2章は従来の基本構想等と言う「基本理念」に当たる部分なので、「基本理念」ではなく「基本的な考え方」のような優しいサブタイトルにしたいと思っている。第4章はそれに対する主要な課題なので、ここは「まちづくりのための主要課題」のようなサブタイトルを付けて、第2章と第4章のすみ分けをしたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>14 ページ「第1章 平戸市の構図」のプロフィールは、一市民の立場で読んだ場合に、理解できないところがある。例えば「CO₂排出ゼロ都市宣言」とあるが、CO₂排出をゼロにすることは不可能。読む人は何のことか分からないので、何を狙っているのか、具体的にどういう行動をしたのか解説を書くべき。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 例えば、30 ページの「DMO」など、他にも行政用語や方言で文言の意味が分からないものも注釈を記載する。 |
| 委員 | 30 ページの「主な取り組み」に「平戸学の推進」や「姉妹・友好都市との交流の推進」がある。どういう都市と交流がされているかなど、分かりにくいのではないか。 |
| 事務局 | 注釈で姉妹都市、友好都市などを記載する。 |
| 委員 | 基本プロジェクト5の「たからをみせる」というのは、「見せてやる」という雰囲気を感じる。 |
| 事務局 | ここの「みせる」は「見る」と「魅力」の「魅」にかけてところがある。 |
| 委員 | それなら漢字で書いたほうがいい。 |
| 事務局 | ここを漢字にするのであれば、他のプロジェクトも漢字にしたほうが統一感はあると思う。漢字がいいということであれば見直す。 |
| 事務局 | (第4章 未来への5つのポイントについて説明) 先ほど、「みせる」を漢字にしたほうがいいとのことで、全部漢字にするのか、ここだけ括弧書きで「魅」を入れるのかについてもご意見を頂きたい。 |
| 委員 | 9、10 ページは全部漢字なので、漢字でもいい。 |
| 事務局 | プロローグに藤浦洗さんの詩を持ってきたのは、市民の方が「こういう詩があったな」と、入りやすいアプローチにしたかった。平戸の何かを表現するときに、地元出身でイメージしやすいのと、若い方で知らな |

| | |
|-----|---|
| | <p>い人も多いと思うが、これをきっかけに知ってほしい。言葉の意味が分からないという点は、注釈を入れることは可能。</p> |
| 会 長 | <p>若い人から年配の方まで読まれるので、分かるような解釈を入れていただきたい。</p> |
| 委 員 | <p>この詩は、私たちの世代からすれば非常に有名な詩なので、分からないところは注釈をきちんと入れておくべき。入っていれば皆が注目するので、いい手法だと思う。</p> |
| 会 長 | <p>トータルテーマが「平戸市未来創造羅針盤」なので、市民が 10 年後の姿を見据えながら向かっていく希望や夢は非常に大切。しかし、地域課題という足元の痛みもきちんと押さえておくことは必要。17、18 ページには財政の問題や人口減少の問題も含まれているが、平戸市の厳しい面もきちんと出して、それを乗り越えてこそ夢を語れるのではないかと思う。これは平戸市としての総合計画なので、市民にとって自分たちのまちについて語っているという内容であるべき。</p> |
| 委 員 | <p>1 ページがいいことばかり書いている感じがある。私は中部地区の小さなまちだが、数人で 10 年後はどうなっているか検討し、「あそこは空き家だ」など勝手にバツを付ける。特に田舎はそういう現実的な部分があるので、1 ページに現状の認識・課題を入れたらいいのではないか。</p> |
| 委 員 | <p>言葉があふれている中で「夢」や「未来」という言葉が多い。20 ページ辺りで平戸市の人口減少は危機的な状況であることが分かるが、1 行でも 2 行でも、1 ページで表せたらいいと思う。</p> |
| 委 員 | <p>私も夢を語っているところが非常に多いと思う。これは 10 年後に必ず完成させたいと、その夢を追って 5 年後までにこれをするという具体</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>的なことも入れたらどうか。</p> |
| 会 長 | <p>総合計画は 10 年を前期と後期に分け、5 年後に検証して後期にという形が一般的なので、5 年後、10 年後を見据えて考えていく形になる。</p> |
| 委 員 | <p>例えば、平戸市民はこれが足りなかったのではないかとか、グラフなど専門家は分かるけれども市民は分からない。これから高齢者が増えるけれども、高齢者をどうすればいいか。若い人の支えがないとできないので、若い人たちとどう連携するのか。高齢者はこれからどういう心構えでいるべきかなど、想像していた。市民が危機感を共有できるものが出るといい。</p> <p>起草委員会でも、夢物語は最初から感じていなかった。第 1 次計画で一番足りないのはつながりで、自分たちが言っても、若い人はあまり聞いてくれないという声をよく聞く。市民がバラバラ。私たちはそれぞれ仕事は違っても、ここに住む者は運命を共にする運命共同体と思う。それがなければ明るい未来がない。私たちがこのまちをどう見ているのか、出てくれば随分違ってくる。</p> |
| 委 員 | <p>37 ページの大島地区の「主な取り組み」に「安心して子どもを生み、育てられる地域づくり」があるが、産婦人科関係の病院等がない。子どもに関してはどこかに入れてもらえないか。</p> |
| 委 員 | <p>総合計画なので、全てを事細かく決めるのは難しい。もう一度、起草委員会で議論し、出てきた案でいいのではないか。総合計画である程度、分野の方向性を出して、高齢者計画や障害者計画等で、より具体的な実効性のある計画を立案し、住民と実行していくという形でいいのではないか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>出産に関する部分については、大島だけではなく平戸市全体の課題にもなっているので、各地域プロジェクトで掲げた詳細を、基本計画の地域ごとの部分でうたい込む。この主な取り組みに対してどういうことができるかは、基本計画に掲げられた部分と重ね合わせながら記載していきたい。</p> |
| 委員 | <p>横文字やローマ字表記などは注釈を付けるとのことだが、配る前に全体的に注釈を付けることになるのか。特に高齢者の家庭は、字が小さいものは絶対に読まないと言われる。配っても見ないと何もならないので、全戸配布の配布物については、できるだけ字は大きくし、読みやすい表現をしていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>今、委員の皆様にお配りしているのは冊子版だが、各世帯に配布するのは概要版を考えており、字の大きさには十分配慮しながら作っていきたい。</p> |
| 委員 | <p>26 ページの生月地区の「主な取り組み」の下から2点目に「水産資源管理と環境保全の推進」とある。これが水産業に対する主な取り組みだが、この文言で漁業者の共感を得られるのか疑問。議論する中では担い手の確保等が一番の課題。水産庁や県の水産部等と協議するときは「もうかる漁業の推進」ということで協議している。昔は100%市場流通だったが、今はいろいろな売り方があり、直売所やネット販売など、流通の再構築も課題。</p> |
| 委員 | <p>最後のほうにある地域づくりプロジェクトはそれぞれの地域に分かれていて、皆さんが目を凝らして見られるので、ここの文言は気をつけていただきたい。</p> <p>私は南部地区で、ここに資源が豊富とあるが全く豊富ではない。100世帯の漁師がいる中で、果たして5年後に、どれくらいの方が漁師として生き延びているのかというくらい厳しい状況。南部の人がこれを見た</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>ときに「夢のような感じだ」とがっかりされることがないとは限らないので、ここに少し厳しい言葉が入ってもいい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>度島は、空き家になったらどうしようとか、空き家にならないようにどうしようと話し合っている。高齢者を動かそうとしているが、代償がないと家から出ない。違った感動でもいいので、そういうものをやりたいたいと思っている。度島は高齢化率も 34%くらいなので、徐々に増やしていくプロジェクトを進めている。</p> |
| <p>会長</p> | <p>私は秋田県出身で母が 92 歳だが、秋田では 100 歳になるとお祝い金が 100 万円出る。昔は 100 歳まで生きる人はほとんどいなかったけれども、今はお年を召された方が多いので、みんなに 100 万円あげたらまちがつぶれるというのが母の見解。そのように、いろいろな面で変わってきているので、考えていく必要がある。10 年後に本当に生きていてよかったと思えるようになっていきたいし、これにも反映できればと思っている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>市民の皆さんは、ご自身の生活の範囲の中で、これがいい、あれがいいという話が出てくるので、その話を伺った上で市全体の計画として、そこのデータをきちんと取ってくるのだと思う。当然たくさん出てくると思うが、それに対して、それは難しいということや優先順位が少し落ちますという部分、役所ではなく住民主体で協働しながらやっというところをきちんと仕分けしていくことが重要。</p> <p>総合計画でも総合戦略でも、協働して一緒にやりましょうというスローガンはどこでも出ている。いざやると、全て要望になってしまうということは往々にしてあるので、そこだけをしっかりやっていく必要がある。あとは議会や審議会で、メッセージとして出していくことが重要。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>私たちは委員として幾らか知識も入ってきているので、読み進めていくうちに理解できるが、一般の方が、果たしてこれを全部読むのかと思う。平戸市をこういうふうにしたいのだと子どもでも一目で分かるように、最後のページにでも平戸市の地図を入れて7つの地域を色分けし、大人や子どもを点々と描いたり、アスパラや魚などの特色を漫画のように描いたらどうか。</p> |
| 会長 | <p>最近イラストが入ったものもあり、さまざまな工夫があるかと思う。</p> |
| 事務局 | <p>文言以外の部分は最終的にデザインをするときに加えられるので、計画書として作る時には、そういう地図を入れたいと思う。</p> |
| 事務局 | <p>(第2次平戸市総合計画基本計画の進め方等について(案)説明) (市民ワークショップについて(報告)について説明) (今後のスケジュールについて説明)</p> |
| 会長 | <p>長時間、委員の皆様方にお集まりいただき、審議会を開催させていただきました。まだまだ、ご発言をされたかったと思いますが、今後、お気づきの点があれば事務局にご意見等を出していただければと思います。</p> <p>本日の議事はこれで終了させていただきます。</p> <p>最後に、吉住部長より閉会の言葉を頂きたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>本日は大変ご多忙な中、熱心なご審議をいただきましてありがとうございました。</p> <p>今、担当のほうからもありましたように、私たちの力不足でスケジュールが変更になりますが、今後、10年間の平戸市の道しるべとなるマスタープランですので、できるだけ良いものにしたい、皆様も納得して答申していただけるものにしたいと思っております。今日、皆様から頂</p> |

いた意見を踏まえて、さらに、より良いものにしていきたいと思います
ので、今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

会議終了